

第 36 回日本包装専士会定期総会

議案書

第一号議案:2024 年度活動実績

第二号議案:2025 年度活動計画

第三号議案:2025 年度役員選出

日本包装専士会

2025 年 5 月 28 日(水)

15:00－16:00 (14:30 受付開始)

会場：三菱商事パッケージング株式会社 6 階セミナールーム

第一号議案:2024 年度活動実績

理事会及び各委員会の活動がリモート併用のハイブリッドによる開催になり、関西や他の地域からの参加が通常化してきた。展示会・講演会等の案内も会員向け一斉配信により情報発信を行なった。

TOKYO PACK 2024 では包装の歴史年表や未来包装予測などの展示パネルの作成に充実した議論をし、結果を展示することができた。また、国立環境研究所やマシンガンズ滝沢氏、大学生とのコラボセミナーも大好評であった。イベントで得たコラボセミナーの記録や展示データの有効活用を専士会員への会員サービスにホームページの活用を通して、一般の方や専士会員により使いやすい形へとステップアップする段階に入ったと考える。

(1)第 35 回定期総会開催 2024 年 5 月 22 日(水)

3議案は賛成多数で可決成立。

(2)理事会開催(2024 年度)

第 1 回 7 月 16 日(火)

TOKYO PACK 2024 の専士会企画について話し合い。テクニカルセミナー、包装力向上コラボセミナー、及び展示ブースでのパネル展示の3企画をすすめることに決定した。

第 2 回 9 月 17 日(火)

10 月 23-25 日の TOKYO PACK 2024 の準備、展示委員会、未来包装研究委員会を中心に抜けがないか確認し、当日の役割体制の協力を調整した。

第 3 回 11 月 11 日(月)

2024 年 9 月～11 月の委員会活動状況報告、及び事務局業務について議論。東京パック 2024 の感想を報告。包装界の賀詞交歓会が1月8日に東京會館にて開催されることを連絡。

第 4 回 1 月 20 日(月)

2024 年 11 月～1 月及び 2025 年も含めて委員会活動状況、計画を報告。新任役員理事候補及び、理事会内役員異動について審議。

第 5 回 3 月 18 日(火)

5月に予定している日本包装専士会の総会の 2024 年度活動実績・会計報告、役員改選、2025 年度活動計画・予算計画、スケジュール等のすり合せをおこなった。

(3)会計監査実施 2025 年 4 月 14 日(月) 会計監査実施。

2024 年度の会計監査を岡田紙業(株)の菅監事に依頼し、承認終了。

(4)委員会活動実績(2024 年度)

【展示委員会】

TOKYO PACK 2024 が、2024 年 10 月 23-25 日 東京ビッグサイト東ホールで開催された。

専士会と日本包装技術協会の調整を当委員会が担当。専士会紹介や包装の歴史、未来包装研究のパネルの展示を企画した。包装4団体にテクニカルセミナー開催（初心者向け包装セミナー）の要望あり。講師とテーマを調整した。未来包装研究委員会は「包装力向上セミナー」(学生とのコラボセミナー)の企画と実施、および、「未来包装研究」のパネル内容を深化させることとした。

【セミナー委員会】

活動を専士会内に向けた形に変更し、専士会会員サービスに向けたセミナー実施を検討、議論し、開催の目的を「仲間づくり」「専門性」に特化した組織の構築、及び、専門分野を議論することを通して専士会の独自性／差別性を模索することとした。当年度は主催セミナーを実施しなかったが、来年度は技術士包装物流会と共催でセミナー開催を企画している。

【情報委員会】

日本包装技術協会発行「包装技術」に毎月の専士会コーナーに各委員会の活動や催事等を掲載。空きがある場合は専士会の紹介を掲載した。

【未来包装研究委員会】

TOKYO PACK 2024 で「包装の未来予測」を委員会で議論し、2024 年度は計 20 回以上の委員会を開催した。完成パネル7枚を展示、パネル内容を1時間程度の講演が可能になるような形で広げていきたい。「包装力向上セミナー」では国立環境研究所稲葉氏、マシンガンズ滝沢氏、3大学の学生とのコラボセミナーとして企画、本番も過去2回に比べて、盛り上がり、充実した結果となった。専士会会員全員が共有できる手段を構築していきたい。国立環境研究所、3大学共にコンタクトを継続して、さらなる協力関係を築いていく。

【情報システム委員会】

委員会活動や理事会議事録等の定期アップロードを継続。全専士会員への一斉配信もセミナーや講演の告知に有効なので、他の包装団体からの案内にも拡大した。

展示委員会や未来包装研究委員会の TOKYO PACK での成果等を専士会会員全員が活用できるようにホームページの会員専用ページの改造を検討する。

【関西委員会】

① 関西理事会開催

- ・2024年度第1回理事会 2024 年 5 月 23 日 Hybrid（大阪市立青少年センター）
- ・2024年度第2回理事会 2024 年 11 月 27 日 Hybrid（大阪市立青少年センター）
- ・2024年度第3回理事会 2025 年 2 月 25 日 Hybrid（大阪市立青少年センター）
- ・2024年度決算理事会 2025 年 4 月 8 日 Hybrid（大阪市立青少年センター）

② 包装専士会関西ミニセミナー（会員無料セミナー）

- ・第1回5月開催 5 月 23 日 Hybrid 講師：平田達也氏「軟包装3 機能について」
- ・第2回9月開催 9 月 26 日 見学会 「エフピコ(株)西宮工場」
- ・第3回11月開催 11 月 27 日 Hybrid 講師：今田克己氏「食品接触包材の安全性」
- ・第4回2月開催 2 月 25 日 Hybrid 講師：岡 美奈氏「ISO規格追補 気候変動への配慮」

③ 他の包装団体との連動（交流）

（公社）日本包装技術協会、日本包装管理士会関西支部、技術士包装物流会関西支部、近畿包装研究会等、包装団体に関する活動に参画。

2024年度(令和6年度)決算報告書

期間 2024年4月1日～2025年3月31日

	(単位 円) 2024年度予算	(単位 円) 2024年度決算
1 前年度繰越金	1,719,403	1,719,403
収入の部		
2 総会、懇親会費	0	0
3 入会金	6,000 (2名)	3,000 (6名中1名)
4 年会費	580,000 (116名)	545,000 (110名)
5 包装技術セミナー参加費	0	0
6 利子	0	671
7 その他、雑収入	0	0
8 小計	586,000	548,671
9 総計	2,305,403	2,268,074
支出の部		
1 総会費	0	0
2 関西委員会 活動補助費	100,000	100,000
3 包装技術セミナー費(P-Workshop含み)	50,000	38,500
4 展示会(東京パック他)費用	100,000	257,315
5 2030包装の未来予測プロジェクト活動費	40,000	82,647
6 情報処理費(HP改訂、保守管理費)	185,000	103,400
7 通信費	20,000	19,772
8 交通費	60,000	33,560
9 事務費(会場費)	15,000	12,100
10 事務委託費(会計、会計監査、総会、他)	70,000	66,000
11 諸経費(手数料、事務用品、新年会分担)	65,000	42,717
12 繰越金補填	△ 119,000	0
13 小計	586,000	756,011
当年度繰越金	1,719,403	1,512,063

2025年4月14日(月)岡田紙業(株)にて行われた会計監査に立会い、
詳細に監査したところ、正確に処理されていることを確認し、これを承認しました。

監事 菅 亮市



2025. 4. 14

第二号議案:2025 年度活動計画

2025 年度は TOKYO PACK 等の大きなイベントがないこともあり、日常の活動や強靱な運営体制を拡充していくことに注力する。役員構成や委員会・組織の見直し、合理化もすすめていく。

一方では、2026 年度のイベントに備え、専士会トータルの実力アップ、即ち、海外情報、国内新技術などの情報共有を深めると同時に国立環境研究所、学生とのコミュニケーションを維持・発展させ、さらなるレベルアップしたセミナー開催を可能にする。専士会員全員を巻き込んだ情報発信をホームページの改造や内容の充実をおこない、相互メリットを追求していく。

【展示委員会】

TOKYO PACK 2024 にてパネル展示した「包装の歴史年表」の内容、図表の元データの確認とそれらの整理と更新を今年度中かけて実施していく。

【セミナー委員会】

他の業界団体とのコラボ開催案件を模索する。TOKYO PACK 以外の展示会に参加の可能性を検討する。今年度は7月7日に「きゅりあん」にて技術士包装物流会とのコラボ講演会を企画進行中。

講師は国立環境研究所 藤井実氏。講演終了後、同会場にて懇親会を開催する。セミナーの準備や出席者の管理に専士会の Google アカウントを利用することを検討する。

【情報委員会】

(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」内の日本包装専士会PRページ執筆とりまとめを継続。展示、講演を通じて「日本包装専士会／委員会の活動紹介」と「日本包装専士会の PR」を進める。

【未来包装研究委員会】

未来包装研究での成果、包装の未来については TOKYO PACK 2024 での成果発表を行ったが、専士会会員や一般の包装従事者への展開ができていない。ホームページ等の活用でデータを限定公開できないかを模索する。国立環境研究所や学生とのコラボセミナーも包装展の定番になりつつあるが、継続してコミュニケーションをとり、2026 年にはさらに進んだコラボ内容としていく。

【情報システム委員会】

当会員の活動内容を紹介できるようにホームページの会員専用ページを改造する。現状は定型フォーマットが入っていて活用しにくい構成になっているため、自由に記載でき、リンクの貼付け、ファイル添付し易くしていく。

「包装の未来」等の成果物の一般または専士会会員への公開について、1stステップとして改造後のこの専用ページを利用することを想定している。

【関西委員会】

例年の活動を踏襲する。関西理事会3回、見学会の開催と理事会の日にミニセミナーを行う。

理事会開催日は 6/3(火)、11/11、翌 2/17、見学会は 9 月に予定する。

対面／Web のハイブリッド方式を考慮した開催とする。(Zoom)

ミニセミナーの案内に必要な名簿等を新入会員のフォローアップも含めてあらためて整備していく。
(案内名簿:関西在住会員、東京理事会メンバー、当年度新入会員)
見学会については大阪万博見学の段取りをすることであったが、入場券の手配が難しそうである。
見学先候補は複数リストアップしている。

—以下余白—

2025年度（令和7年度）予算案

期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(単位 円)

1	前年度繰越金		1,512,063
収入の部			
2	総会、懇親会費		0
3	入会金	3,000×2名	6,000
4	年会費	5,000×120名	600,000
5	包装技術セミナー参加費		0
6	利子		0
7	その他（雑収入）		0
8		小計	606,000
9	総計		2,118,063

支出の部

1	総会費		0
2	関西委員会 活動補助費		60,000
3	包装技術セミナー費(Packaging-Workshop含み)		30,000
4	展示会（東京パック等）費用		20,000
5	2030包装の未来予測プロジェクト 活動費		30,000
6	情報処理費（HP改訂、保守管理費）		230,000
7	通信費		20,000
8	交通費		60,000
9	事務費（会場費）		16,000
10	事務委託費（会計、会計監査、総会、他）		70,000
11	諸経費（手数料、事務用品、新年会分担）		70,000
12	繰越金補填		0
13		小計	606,000
14	今年度繰越金		1,512,063
15	総計		2,118,063

2025年4月21日
事務局 渡辺作成

第三号議案:役員選出(2025 年度)

2025年度日本包装専士会理事会役員一覧

2025.5.16.現在

役職	区分	氏名	コース	期	所属
会長	留任	嶋 雅文	包装材料	18	
副会長	留任	下村 充	輸送包装	22	王子コンテナ株式会社
	留任	平田 達也	包装材料	24	アクア株式会社
	留任	及川 英之	包装材料	25	味の素AGF株式会社
	新任	北島 誠之	食品包装	30	出光ユニテック株式会社
	新任	堤 正一	医薬品包装	16	岡田紙業株式会社
事務局長	留任	今田 克己	包装材料	17	今田包装技術企画（理事延長）
事務局次長	留任	渡辺 茂紀	医薬品包装	15	株式会社協進印刷
事務局補佐	再任	高橋 裕美	輸送包装	33	日本化工機材株式会社
理事	留任	小林 浩一	輸送包装	21	
	留任	中村 圭介	輸送包装	28	カネパッケージ株式会社
	再任	高畑 幸典	包装材料	28	株式会社サガシキ
	留任	野田 貴治	包装材料	30	日本製紙株式会社
	新任	千葉哲也	包装材料	37	花王株式会社
	再任	竹内 公生	食品包装	10	東洋製罐グループホールディングス株式会社
	新任	島田 賢一	食品包装	14	三菱商事パッケージング株式会社
	再任	成田 淳一	食品包装	18	アールエム東セロ株式会社
	再任	小林 義浩	食品包装	22	味の素株式会社
	再任	中山 勉伸	食品包装	22	アールエム東セロ株式会社
	留任	橋本 香奈	食品包装	28	缶詰技術研究会
	留任	崎尾 宇伸	食品包装	34	株式会社タチバナインダストリーズ
	留任	友滝 謙輔	食品包装	34	廣川ホライズン株式会社
	新任	宮川 匠	食品包装	38	東洋インキ株式会社
	新任	松井幸一郎	食品包装	36	オハヨー乳業株式会社
	留任	岡 美奈	食品包装	22	
	再任	清水 太一	医薬品包装	18	（理事延長）
	再任	小谷 聖	医薬品包装	30	株式会社細川洋行
特別理事	再任	有田 俊雄			有田技術士事務所
監事	再任	平野 雅裕	医薬品包装	18	株式会社タケトモ
	留任	菅 亮市	医薬品包装	19	岡田紙業株式会社
顧問	留任	安原 明世	システム	3	岡田紙業株式会社

以上